

編集後記

この数年、人工関節置換術にロボットを導入している。外科手術は長らく「職人技」の世界として語られてきた。熟練した術者の感覚や経験に基づく判断が手術成績を左右し、とりわけ整形外科では、わずかな角度や軟部組織のテンションの違いが術後機能やインプラントの耐久性に直結する。そのため、卓越した技量こそが最良の結果を生み出すと考えられてきた。実際、同じ術式であっても術者によって成績に差が生じることは珍しくなく、そこに外科医療の奥深さと難しさが存在していた。

しかし近年、その状況は大きく変化している。3D画像を用いた術前計画の進歩に加え、ナビゲーションシステムやロボティック手術の普及によって、これまで術者個人の経験や勘に依存していた判断や手技が可視化され、共有可能となってきた。人工関節手術は、「誰が行っても一定水準の成果に到達しうる再現性の高い医療」へと変貌しつつある。実際、術前計画通りにインプラントを設置できる精度は、ロボット支援下で大きく向上することが数多く報告されている。これまで一部の熟練術者だけが達成できていた精度を、システムの力で広く実現できるようになったことは、医療の質を底上げし、施設間・地域間格差を縮小しうるという意味で極めて意義深い。また、若手外科医の教育という観点からも、経験の言語化や手技の標準化が進むことは大きな利点である。

一方で、ロボットがあれば万全というわけではない。ロボットは術前計画を忠実に再現することには優れているが、予想外の状況に柔軟に対応することは容易ではない。そもそも術前計画自体が適切でなければ、良好な術後成績には結びつかない。患者ごとの解剖学的多様性や病態の複雑さ、骨質や軟部組織の状態、さらには術中に生じる微妙な決断は、なお人間の判断力を必要とする。これからの外科医に求められるのは、「職人」としての感性を捨てることではなく、科学的根拠と再現性の高い技術を基盤としながら、その上に経験に裏打ちされた判断力を重ねることであろう。職人技と新しい技術は対立するものではなく、融合することでより良い医療を生み出すものだと感じている。

さて、今月の特集は「肥満と整形外科疾患」である。肥満症は高血圧症や糖尿病などの生活習慣病のみならず、変形性関節症や腰痛など運動器疾患の発症・進行とも密接に関係している。一方で、その対極にある「やせ」もまた重要な問題であり、骨粗鬆症、サルコペニア、脆弱性骨折などと深く関連する。今回の特集では、肥満と整形外科疾患について多角的な視点から整理していただいた。読者の皆様にとって、日常診療や生活指導を考える上での一助となれば幸いである。最後に、ご多忙の中ご執筆いただいた諸先生方に深く感謝申し上げます。編集後記としたい。(中島康晴)

「整形・災害外科」第69巻 第7号 (6月号)	発行所 金原出版株式会社
2026年6月1日発行 (毎月1回1日発行)	発行者 前田達也
定価 3,190 円 (本体 2,900 円 + 税 10%)	〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
年間購読料金	TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通]
定価 49,940 円 (本体 45,400 円 + 税 10%)	TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通]
[年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代]	FAX 03 (3813) 0288
[年間予約購読者に限り送料無料]	www.kanehara-shuppan.co.jp
	印刷所 三報社印刷株式会社
	広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること (コピー、スキャン、デジタルデータ化など) は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・本誌を AI (人工知能) 分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。